



## 2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月13日

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 03(6421)7438  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,863	10.7	62	△55.3	76	△53.7	33	244.6
2022年8月期第3四半期	1,683	26.0	140	4.3	166	6.4	9	△94.2

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 50百万円(281.3%) 2022年8月期第3四半期 13百万円(△92.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	2.27	2.26
2022年8月期第3四半期	0.66	0.66

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	3,701	3,149	85.1
2022年8月期	3,720	3,098	83.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 3,149百万円 2022年8月期 3,098百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,551	13.3	170	36.2	182	34.9	123	—	8.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期3Q	15,171,800株	2022年8月期	15,171,800株
2023年8月期3Q	426,258株	2022年8月期	426,258株
2023年8月期3Q	14,745,542株	2022年8月期3Q	14,743,728株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限の緩和により、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢や円安等を起因とするエネルギー価格や食料価格の高騰など、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報口コミサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業の多角化を積極的に促進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、取得した子会社の連結開始および既存の子会社の業績貢献によって、売上高は1,863,667千円（前年同四半期比10.7%増）となりました。利益につきましては、新たに取得した子会社の費用に加え、人件費やシステム開発費用などの投資によって販売費及び一般管理費の負担が増加したことにより、営業利益62,838千円（前年同四半期比55.3%減）、経常利益76,913千円（前年同四半期比53.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,410千円（前年同四半期は子会社ののれん減損に係る特別損失を計上したため、前年同四半期比244.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (インターネットメディア事業)

当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」におきましては、商品力の強化を図るべく今年3月にシステムの全面リニューアルを実施いたしました。この結果、店舗ジャンル毎にコンテンツを最適化した店舗情報の更新を容易にして、店舗を利用するユーザーに対しても新たなサービスの提供が可能となりました。

しかしながら、システム移行時のトラブル等により無料店舗会員の獲得が進まず受注が減少したことに加えて、対応負荷が増大して解約抑制を始めとする顧客対応を十分に行えなかったことにより解約件数は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は301,223店舗、有料店舗会員数は17,227店舗（前連結会計年度末比949店舗減少）となり、売上高も微減となりました。しかしながら、前連結会計年度の第4四半期末に子会社化した出張型生活サービス事業者のマッチングサービスを運営するオコマリ株式会社の売上高が加わり、セグメント全体の事業規模は拡大いたしました。

これらの結果、インターネットメディア事業の売上高は1,271,902千円（前年同四半期比6.3%増）となりました。セグメント利益につきましては、当社における人件費およびシステム開発費に加えて、新たに加わったオコマリ株式会社の販売費及び一般管理費の負担が大きかったことにより、142,086千円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

## (DXソリューション事業)

オフショア開発事業におきましては、ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.の対応力を活かして開発プロジェクトの推進・納入が順調に進んだ結果、業績を拡大いたしました。加えて、ポスティングやWeb広告を事業内容とする株式会社DEECHも、Web広告が好調で新規の案件獲得も進んだ結果、売上高は増加いたしました。利益につきましては、各子会社において体制強化に向けた費用負担が増加したことなどにより、赤字幅が拡大いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は557,799千円（前年同四半期比23.1%増）、セグメント損失は51,335千円（前年同四半期はセグメント損失31,561千円）となりました。

## (その他)

株式会社昼jobの人材紹介サービスは、ナイトワーク出身者の求職環境は依然として厳しいものの、営業体制の強化などによる売上高の向上とコスト削減に努めました。

この結果、その他事業の売上高は64,960千円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は7,542千円（前年同四半期比729.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19,202千円減少し、3,701,523千円となりました。

これは主に、売掛金の増加（前連結会計年度比88,356千円増）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比34,360千円増）等がありましたが、のれんの減少（前連結会計年度末比23,021千円減）、流動資産その他の減少（前連結会計年度末比109,472千円減）等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ69,839千円減少し、552,138千円となりました。

これは主に、賞与引当金の増加（前連結会計年度比25,076千円増）、1年内返済予定の長期借入金の増加（前連結会計年度比17,857千円増）及び、ポイント引当金の増加（前連結会計年度比12,836千円増）等がありましたが、未払法人税等の減少（前連結会計年度比52,515千円減）、長期借入金の減少（前連結会計年度比28,390千円減）及び、流動負債その他の減少（前連結会計年度末比48,378千円減）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ50,637千円増加し、3,149,385千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比33,410千円増）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比11,099千円増）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比6,168千円増）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,272,817	2,286,501
売掛金	170,445	258,802
契約資産	18,634	9,281
有価証券	400,000	400,000
仕掛品	557	30
貯蔵品	2,483	3,644
その他	169,572	60,100
貸倒引当金	△21,199	△20,439
流動資産合計	3,013,311	2,997,921
固定資産		
有形固定資産	50,620	45,501
無形固定資産		
のれん	148,087	125,065
その他	5,263	3,244
無形固定資産合計	153,350	128,309
投資その他の資産		
投資有価証券	288,799	323,159
その他	214,645	206,630
投資その他の資産合計	503,444	529,790
固定資産合計	707,414	703,601
資産合計	3,720,726	3,701,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,409	15,928
1年内返済予定の長期借入金	15,441	33,298
未払金	156,056	154,247
未払法人税等	60,128	7,613
役員賞与引当金	164	108
賞与引当金	4,638	29,714
ポイント引当金	1,534	14,370
受注損失引当金	792	71
その他	111,951	63,573
流動負債合計	362,116	318,925
固定負債		
長期借入金	224,509	196,119
資産除去債務	33,406	33,441
その他	1,946	3,652
固定負債合計	259,861	233,213
負債合計	621,978	552,138
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	648,967	648,967
資本剰余金	629,950	629,950
利益剰余金	1,861,787	1,895,197
自己株式	△100,186	△100,186
株主資本合計	3,040,518	3,073,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,226	18,326
為替換算調整勘定	50,961	57,129
その他の包括利益累計額合計	58,188	75,456
新株予約権	42	-
純資産合計	3,098,748	3,149,385
負債純資産合計	3,720,726	3,701,523

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,683,839	1,863,667
売上原価	384,938	487,914
売上総利益	1,298,901	1,375,752
販売費及び一般管理費	1,158,256	1,312,914
営業利益	140,644	62,838
営業外収益		
受取利息	3,251	9,525
受取配当金	163	-
違約金収入	37,759	15,986
投資事業組合運用益	18,778	-
その他	5,501	5,205
営業外収益合計	65,454	30,717
営業外費用		
支払利息	1,179	1,121
貸倒引当金繰入額	23,063	8,538
投資有価証券売却損	9,389	-
貸倒損失	3,589	3,134
投資事業組合運用損	-	3,330
その他	2,799	516
営業外費用合計	40,021	16,641
経常利益	166,077	76,913
特別利益		
固定資産売却益	-	27
新株予約権戻入益	12	42
特別利益合計	12	69
特別損失		
固定資産売却損	192	-
固定資産除却損	296	0
減損損失	87,403	-
特別損失合計	87,891	0
税金等調整前四半期純利益	78,197	76,983
法人税、住民税及び事業税	62,874	40,107
法人税等調整額	4,223	3,464
法人税等合計	67,098	43,572
四半期純利益	11,099	33,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,404	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,695	33,410



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	11,099	33,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,160	11,099
為替換算調整勘定	25,351	6,168
その他の包括利益合計	2,190	17,268
四半期包括利益	13,289	50,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,885	50,679
非支配株主に係る四半期包括利益	1,404	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の運用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結子会社における訴訟について)

連結子会社である株式会社イー・ネットワークスに対して、2022年1月21日に元株主から一部の株式について現在も株主であることを主張する旨の訴訟が提起されております。

当社グループとしましては、原告の主張には合理性がないものとして、原告の請求の棄却を主張して参ります。

(ポイント引当金)

当第3四半期連結会計期間より、エキテンポイント制度の変更に伴い、ユーザーに付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当第3四半期連結累計期間末において将来利用されると見込まれる額が増加しております。

この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12,515千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,196,216	425,534	1,621,751	62,088	1,683,839	—	1,683,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	239	27,765	28,004	600	28,604	△28,604	—
計	1,196,455	453,300	1,649,755	62,688	1,712,444	△28,604	1,683,839
セグメント利益又は損 失(△)	228,892	△31,561	197,331	909	198,240	△57,596	140,644

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HRソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,596千円には、セグメント間取引消去9,129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△66,725千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

「DXソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社DEECHに係る有形固定資産、無形固定資産及びのれんについて、当初想定していた収益の達成は困難であると判断したことから、87,403千円を減損損失として計上いたしました。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,271,902	528,003	1,799,906	63,760	1,863,667	—	1,863,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,795	29,795	1,200	30,995	△30,995	—
計	1,271,902	557,799	1,829,702	64,960	1,894,663	△30,995	1,863,667
セグメント利益又は損 失(△)	142,086	△51,335	90,751	7,542	98,293	△35,455	62,838

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HRソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△35,455千円には、セグメント間取引消去15,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,456千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。